



BEANS SHACK

自家焙煎珈琲豆の店

コロナ禍や物価高などの影響で、苦境に立たされている石川県内の中小企業は多い。一方で、この困難を乗り越えようと奮闘する事業者もいる。金沢市の住宅街に構える自家焙煎珈琲豆の店「BEANS SHACK」もその一つだ。海外から取り寄せたこだわりの豆（そら）を揃え、来店客がお気に入りの「一杯」を見つける手伝いをしている。

好みの「一杯」 見つけます

コーヒーは人生を豊かに

オーナーの若狭浩将さん(60)がIT関連企業を早期退職し、夢だった店を開店させたのは、2020(令和2)年3月のこと。店ではアフリカや中南米、アジアから取り寄せた12、13種類の豆を扱っている。いずれも栽培履歴が明らかで高品質な豆で、産地や水分量などそれぞれの特徴を見極めながら若狭さんが焙煎し、深い味わいを引き出している。焙煎方法は、サラリーマン時代からコツコツと勉強を重ねて技術を磨いた。
「コーヒーって、ほんの少しだけ人生



相棒ともいえる焙煎機とともに、来店客を出迎える若狭さん



こだわりの焙煎でうま味を引き出した豆

を豊かにしてくれると思うんです。地域の皆さんがほっと一息つける瞬間に寄り添う一杯を提供できればうれしい」
そんな願いを込めた店の歩みは、新型コロナウイルス感染拡大の歴史とも重なる。店を開けたくても、開けられない日々。ようやくオープンしても、周知不足でなかなか常連客の獲得が難しい。一人で頭を抱えている時、サポートしてくれたのが石川県信用保証協会だった。

SNS活用のプロが助言

事業者が抱える課題解決へ「その道のプロ」(専門家)を派遣して経営支援する制度を利用し、紹介を受けたWebマーケティング越後龍一さんから、SNSの活用方法を教わった。助言を受けて地図アプリで公開する店舗情報を整え、写真もアップ。インスタグラムはまめに更新するようになった。

「すると『ネットで見ました』と言って能登や県外からもお客さんが足を運んでくれるようになったんです。先生のアドバイスで、やってみて良くなかったことは一つもない。何が正解か分からない経営の初心者にとって、先生と保証協会の皆さんは心強い存在でした」(若狭さん)。

地域に選ばれる店に

思わず「ああ、いい匂い」と声が漏れ



希望に合わせてギフトにも対応する

てしまうほど、珈琲の香りに包まれた店内では、来店客に必ずひきたての豆でハンドドリップした試飲を楽しんでもらう「もっと甘い方がいい」「もう少し酸味がある方が好き」といった要望を聞き取りながら、好みの豆を提案する。近くの洋菓子店とコラボした焼き菓子や、ドリップパー、ポットといった道具類も並び、おいしいコーヒーの入れ方教室も開催する。
「第二の人生は、大好きなコーヒーの専門店を持つとう。そう決意してから約15年、念願になった若狭さんは「お客様の『おいしい』の一言が何よりの励み。コーヒーが趣味という方も、初心者の方も、何よりこの地域の皆さんに選んでもらえるよう頑張っていきたい。インスタ用にネタや写真の撮り方も工夫していきたいです」と笑顔を見せた。

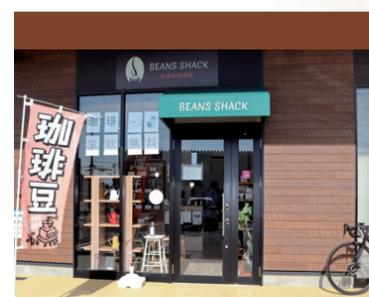
そのお悩み、相談してみませんか？

石川県信用保証協会では、事業者の皆様の課題解決に向けてその道のプロ(専門家)を無料で派遣しています。

ぜひ一度、ご連絡ください。

あなたに寄り添う.....

石川県信用保証協会 Tel. 076-222-1550 石川県信用保証協会 検索



BEANS SHACK
自家焙煎珈琲

<https://beans-shack.p-kit.com>

金沢市出雲町イ230-2-108 TEL: 076-254-6435
OPEN: 10:30~18:15(LO)
E-mail: beans-shack_108@outlook.jp



BEANS_SHACK